

## 補助事業成果報告書

法人番号	231001	法人名	愛知学院	学校名	愛知学院大学
内定番号	—	補助項目名	在外研究		
教育研究課題名	19世紀リージェンツ・パーク設計と都市計画				

## 1、補助事業の取組状況（500字以内）

今回の在外研究の目的は、19世紀都市史研究の観点から、リージェンツ・パークの設計デザインに関する研究を行うことである。研究先は歴史研究の拠点として有名なロンドン大学高等研究院歴史研究所であり、指導教授であるジョー・フォックス教授をはじめ、多くの社会史および都市史研究家と情報交換をすることができた。

また、当該研究所はランドスケープ研究でも大きな成果を上げており、History of Gardens and Landscapes Seminarが毎月開催され、情報交換および最新の動向について知る機会となった。

さらに、当該研究所には、在外研究者の研究史料として必須である議会文書やロンドンの古地図等を多く所蔵しており、理想的な環境で史料研究と執筆を行うことができた。また、当該研究所は、テーマであるリージェンツ・パークへのアクセスも良く、フィールドワークを行うには最適であった。地方自治体文書の収集については、国立公文書館、二次文献検索については大英図書館も利用した。第一級の研究所や図書館を日々利用することができたのは、大変幸運なことであった。

## 2、補助事業の成果（500字以内）

在外研究者はこれまでもリージェンツ・パークに関する研究を行ってきたが、その成立過程や同時に行われたリージェント・ストリート計画との関連等、概略的研究にとどまっていた。しかし、今回の研究により、多くの一次史料に触れ、さまざまな視点から考察することによって、当該パークのデザインについて深く切り込むことができた。

具体的には、19世紀の芸術理論として、文学や美術、建築分野等において当時のイギリス社会に大きな影響を与えたピクチャレスク理論を精査し、その理論家たちの書物に触れることによって、当該パークのデザインがいかにその理論のコンテキストと合致するかについて分析することができた。また、当該パーク内に建設されたヴィラに焦点を当て、その建築的意義を当時のランドスケープ・デザインの観点から探究することができた。これらについては、先行研究においても表面的にしか触れられることがなかったが、今回の在外研究により、考察を深めることができたことがもっとも大きな成果であった。

所属	職名	氏名	内線番号
文学部	准教授	芝 奈穂	